

「いのちの署名」にご協力ください

①中学校卒業までの医療費無料化、②お年寄りの医療費窓口負担軽減、③国民健康保険料の値下げ、の3点を求める署名です。

現在の「3歳まで医療費無料」の制度は、繰り返し多数の署名が提出されたことと、それをうけて党議員団が議会で繰り返し具体的な提案を重ねてきたことが大きな力となり、知事・市長を動かし、実現させました。署名は確実に役立ちます。ぜひご協力ください。

削るべきは、福祉ではなく、無駄遣い

京都市は、「財政難」を理由に、区役所跡地の売却につづき、錦林・修学院などの市立保育所の廃止・民営化、敬老乗車証制度の改悪を強行しようとしています。その一方で、新しいごみ焼却炉の煙突に2億5千万円もかけて「展望台」を計画するなど、ひどい無駄遣いが横行。京都会館も、建物価値を守る「改修」にとどめておけば60億円ですんだのに「建替え」にしたために事業費が113億円に拡大。市議会が一致して求めている河合橋の改修は6年以上先送りの一方、反対運動が起こっている北泉橋の新設を狙っています。確かに、京都市の財政は厳しいですが、無駄遣いをやめれば福祉を削らずに、暮らしの願いは実現できます。



3月、子育て世代の仲間たちと「世直しパレード」政治を身近に感じてもらうための挑戦です。



10月、全国政令指定都市税財政特別委員長会議で挨拶。大都市で結束して国へ予算充実を要望。

いつでも住民と二人三脚で



8月、区役所跡地売却問題の強引な売却に怒る皆さんの声をまっすぐ議会へ届けました。



8月、消防団員として大文字の送り火の警備。



水溜りの悩み聞き、道路側溝の修繕へ



市による岡崎公園再整備の現地説明を要請。新たな箱モノ建設の心配、交通量調査が不十分なため、道路廃止議案には反対。

9月、町内会等の要望が実り、土砂の一部撤去が実現した桜谷川砂防ダム（堰堤）。京都府と引き続き協議中。



とがし豊・プロフィール／1975年京都市生まれ。紫竹小、加茂川中、朱雀高校、同志社大学経済学部卒業。党京都左京地区委員会・しんぶん赤旗出張所長、党左京青年学生部長など歴任。2004年度京都市ごみ減量推進委員。2007年4月初当選。2011年4月、58票差で再選を果たす。2012年度は市会交通水道消防副委員長、2014年度は市会経済総務委員長・京都信用保証協会理事・京都市観光協会参与。左京消防団川東分団部長。家族は、妻、長女（4歳）、次女（3歳）長男（1歳）。夷川通川端東入る大文字町へ転居。



↑私が子どもたちのためにつくったお弁当。こうした「キャラ弁」づくりが趣味。